

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 近畿財務局長

【提出日】 平成30年2月14日

【四半期会計期間】 第124期第3四半期(自平成29年10月1日至平成29年12月31日)

【会社名】 神東塗料株式会社

【英訳名】 SHINTO PAINT COMPANY, LIMITED

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 玉村隆平

【本店の所在の場所】 兵庫県尼崎市南塚口町六丁目10番73号

【電話番号】 大阪06(6426)3355(代表)

【事務連絡者氏名】 企画・経理室部長 青山忠嗣

【最寄りの連絡場所】 兵庫県尼崎市南塚口町六丁目10番73号

【電話番号】 大阪06(6426)3355(代表)

【事務連絡者氏名】 企画・経理室部長 青山忠嗣

【縦覧に供する場所】 神東塗料株式会社東京事業所
(東京都江東区新木場四丁目3番17号)
株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

回次	第123期 第3四半期 連結累計期間	第124期 第3四半期 連結累計期間	第123期
会計期間	自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日	自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日	自 平成28年4月1日 至 平成29年3月31日
売上高 (百万円)	16,134	16,656	21,423
経常利益 (百万円)	693	810	1,090
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益 (百万円)	311	521	649
四半期包括利益又は包括利益 (百万円)	226	626	798
純資産額 (百万円)	16,503	17,523	17,075
総資産額 (百万円)	36,174	36,747	35,485
1株当たり四半期(当期) 純利益金額 (円)	10.06	16.84	20.95
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額 (円)	-	-	-
自己資本比率 (%)	43.7	45.7	46.2

回次	第123期 第3四半期 連結会計期間	第124期 第3四半期 連結会計期間
会計期間	自 平成28年10月1日 至 平成28年12月31日	自 平成29年10月1日 至 平成29年12月31日
1株当たり四半期純利益金額 (円)	3.91	6.99

- (注) 1 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
- 2 売上高には、消費税等は含まれておりません。
- 3 「潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額」については、潜在株式が存在しないため、記載しておりません。

2 【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)において営まれている事業の内容について、重要な変更はありません。

また、主要な関係会社についても異動はありません。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生、又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

2 【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等は行われておりません。

3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び関係会社）が判断したものであります。

(1) 業績の状況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、国内における個人消費の伸びは引き続き緩慢なものの、政府の経済対策や金融緩和策を背景に、また、外需も堅調に推移したことから、企業部門における生産活動は増加基調にあり、国内景気は緩やかながらも持ち直しの動きがみられました。

当社グループにおきましては、こうした経済状況の中で新製品の開発による積極的な販売活動及びアジア市場での海外事業のさらなる展開とともに、コスト競争力の一層の向上に取り組んでまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は16,656百万円（前年同四半期比3.2%増）となりました。損益面では、営業利益は628百万円（前年同四半期比5.9%減）、経常利益は810百万円（前年同四半期比16.9%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は521百万円（前年同四半期比67.4%増）となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

(塗料事業)

アルミ電着塗料分野は、海外で新規顧客の獲得がございましたが、前期に発生したスポット需要が発生しなかったことに加え、国内主要ユーザーが生産調整を行なったこと等により、売上高は減少いたしました。

工業用電着塗料分野は、主要ユーザーである電設資材、鋼製家具、ハウスメーカー向け出荷が堅調に推移したため、一部配電盤、照明器具メーカー向け出荷が低調に推移したものの、売上高はほぼ前年並みとなりました。

粉体塗料分野は、主力の鋼製家具、建設資材メーカー向け出荷が堅調に推移したことに加え、新規に獲得した工作機械向け出荷も好調であったため、売上高は増加いたしました。

工業用塗料分野は、主要ユーザーである建設機械、工作機械、形鋼、ゴルフボール向け出荷がいずれも堅調に推移したため、売上高は増加いたしました。

建築塗料分野は、塗料販売は引き続き主力の汎用品の出荷が低迷したことに加え、集合住宅改修物件の獲得も低調でしたが、工事売上において主力ユーザーの塗装工事前倒しが継続したため、売上高は増加いたしました。

防食塗料分野は、主力の新設橋梁物件の出荷が好調に推移したことに加え、下期に入り民間プラントのメンテナンス向け出荷も回復したため、売上高は増加いたしました。

道路施設用塗料分野は、夏場の天候不順の影響で出荷が減少していたすべり止め舗装材、カラー舗装材の出荷が下期に入り回復したため、売上高はほぼ前年並みとなりました。

軌道材料製品分野は、道床安定剤、可変パッド樹脂の出荷は堅調に推移しましたが、スラブ補修材の出荷が引き続き低調であったため、売上高は減少いたしました。

自動車用塗料分野は、国内で新規建浴出荷があったことに加え、海外向け出荷が引き続き好調であったため、売上高は増加いたしました。

この結果、塗料事業の売上高は15,512百万円（前年同四半期比3.8%増）、経常利益は801百万円（前年同四半期比17.0%増）となりました。

(化成品事業)

受託生産している化成品事業の売上高は1,144百万円(前年同四半期比3.8%減)、経常利益は9百万円(前年同四半期比6.7%増)となりました。

(2) 財政状態の分析

(総資産)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ受取手形及び売掛金が792百万円、現金及び預金が277百万円、投資有価証券が258百万円増加したこと等により36,747百万円(前連結会計年度末比1,262百万円増)となりました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末に比べ支払手形及び買掛金が1,412百万円増加し、長期借入金が266百万円、短期借入金が180百万円、未払法人税等が142百万円減少したこと等により19,224百万円(前連結会計年度末比814百万円増)となりました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べ利益剰余金が366百万円、その他有価証券評価差額金が67百万円増加したこと等により17,523百万円(前連結会計年度末比447百万円増)となりました。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結累計期間において、当社グループの事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

(4) 研究開発活動

当第3四半期連結累計期間における当社グループが支出した研究開発費の総額は173百万円であります。また当第3四半期連結累計期間の研究開発による新製品・新品種は下記の通りであります。

(塗料事業)

- ・「シントーマルチプライマーSP」
非鉄金属用 1液型高分子エポキシ樹脂 下塗
- ・「めっきコートマイルド下塗HB」
亜鉛メッキ面用 エポキシ樹脂 下塗
- ・「めっきコートマイルド上塗HB」
通信鉄塔用 ふっ素樹脂 上塗
- ・「アクアフロンティアHG - 」
建築外塗装用 水系4フッ化ふっ素セラミック樹脂 上塗
- ・「ロードカラー蛍」
外部用蛍光塗料 アクリル樹脂 蛍光塗料(上塗)

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	112,000,000
計	112,000,000

【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成29年12月31日)	提出日現在 発行数(株) (平成30年2月14日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	31,000,000	31,000,000	東京証券取引所 (市場第一部)	単元株式数は100株であります。
計	31,000,000	31,000,000	-	-

(2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (千株)	発行済株式 総数残高 (千株)	資本金増減額 (百万円)	資本金残高 (百万円)	資本準備金 増減額 (百万円)	資本準備金 残高 (百万円)
平成29年12月31日		31,000		2,255		585

(6) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

当第3四半期会計期間末日現在の議決権の状況については、株主名簿の記載内容が確認できず、記載することができませんので、直前の基準日である平成29年9月30日の株主名簿により記載しております。

【発行済株式】

平成29年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 22,800	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 30,971,900	309,719	-
単元未満株式	普通株式 5,300	-	-
発行済株式総数	31,000,000	-	-
総株主の議決権	-	309,719	-

(注) 「完全議決権株式(その他)」の「株式数」の欄には証券保管振替機構名義の普通株式が6,000株含まれております。また、「議決権の数」の欄には、同機構名義の完全議決権株式に係る普通株式の議決権が60個含まれております。

【自己株式等】

平成29年9月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式総数 に対する所有株 式数の割合(%)
(自己保有株式) 神東塗料株式会社	兵庫県尼崎市南塚口町 六丁目10番73号	22,800	-	22,800	0.07
計	-	22,800	-	22,800	0.07

2 【役員の状況】

前事業年度の有価証券報告書提出日後、当四半期累計期間における役員の異動はありません。

第4 【経理の状況】

1. 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間（平成29年10月1日から平成29年12月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成29年4月1日から平成29年12月31日まで）に係る四半期連結財務諸表について、有限責任 あずさ監査法人により四半期レビューを受けております。

1 【四半期連結財務諸表】

(1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,725	3,002
受取手形及び売掛金	7,084	2 7,876
商品及び製品	1,729	1,760
原材料及び貯蔵品	546	609
その他	412	404
貸倒引当金	10	12
流動資産合計	12,486	13,641
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,726	2,675
機械装置及び運搬具（純額）	1,555	1,500
土地	15,812	15,806
その他（純額）	403	365
有形固定資産合計	20,498	20,348
無形固定資産	237	267
投資その他の資産		
投資有価証券	1,647	1,905
その他	620	589
貸倒引当金	4	4
投資その他の資産合計	2,262	2,490
固定資産合計	22,999	23,106
資産合計	35,485	36,747

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,587	2 6,999
短期借入金	3,515	3,334
未払法人税等	231	89
賞与引当金	252	124
役員賞与引当金	14	9
その他	966	2 962
流動負債合計	10,568	11,520
固定負債		
長期借入金	1,881	1,614
再評価に係る繰延税金負債	3,910	3,910
役員退職慰労引当金	7	7
退職給付に係る負債	1,411	1,506
その他	631	664
固定負債合計	7,842	7,703
負債合計	18,410	19,224
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,255	2,255
資本剰余金	585	585
利益剰余金	5,346	5,713
自己株式	4	4
株主資本合計	8,182	8,549
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	124	192
土地再評価差額金	7,929	7,929
為替換算調整勘定	124	85
退職給付に係る調整累計額	23	24
その他の包括利益累計額合計	8,203	8,232
非支配株主持分	689	741
純資産合計	17,075	17,523
負債純資産合計	35,485	36,747

(2) 【四半期連結損益及び包括利益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
売上高	16,134	16,656
売上原価	12,584	13,198
売上総利益	3,550	3,458
販売費及び一般管理費		
発送費	425	432
広告宣伝費及び販売促進費	111	68
従業員給料及び手当	843	859
賞与引当金繰入額	54	55
退職給付費用	61	53
減価償却費	98	91
試験研究費	170	173
その他	1,117	1,095
販売費及び一般管理費合計	2,882	2,830
営業利益	667	628
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	19	20
受取賃貸料	17	19
持分法による投資利益	128	144
その他	14	8
営業外収益合計	179	193
営業外費用		
支払利息	9	6
為替差損	139	-
支払補償費	1	4
その他	3	0
営業外費用合計	153	11
経常利益	693	810
特別損失		
固定資産除却損	9	8
特別損失合計	9	8
税金等調整前四半期純利益	683	802
法人税等	316	231
四半期純利益	366	571
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純利益	311	521
非支配株主に帰属する四半期純利益	55	49

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	30	97
為替換算調整勘定	48	64
退職給付に係る調整額	0	0
持分法適用会社に対する持分相当額	122	22
その他の包括利益合計	140	55
四半期包括利益	226	626
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	165	550
非支配株主に係る四半期包括利益	60	76

【注記事項】

(四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)

	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日至平成29年12月31日)
税金費用の計算	税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(四半期連結貸借対照表関係)

1 保証債務

当社の持分法適用会社である神之東塗料貿易(上海)有限公司に対して債務保証を行っていますが、前連結会計年度末及び当第3四半期連結会計年度末時点において借入金及び保証の実行残高はありません。

2 四半期連結会計期間末日満期手形の会計処理については、手形交換日をもって決済処理しております。

なお、当第3四半期連結会計期間末日が金融機関の休日であったため、次の四半期連結会計期間末日満期手形が、四半期連結会計期間末残高に含まれております。

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
受取手形	-	379百万円
支払手形	-	322百万円
設備関係支払手形	-	125百万円

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日至平成29年12月31日)
減価償却費	475百万円	477百万円

(株主資本等関係)

前第3四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年12月31日)

1 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成28年5月13日 取締役会決議	普通株式	154	5.00	平成28年3月31日	平成28年6月9日	利益剰余金

2 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年12月31日)

1 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成29年5月15日 取締役会決議	普通株式	154	5.00	平成29年3月31日	平成29年6月9日	利益剰余金

2 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計
	塗料事業	化成品事業	計	
売上高	14,944	1,189	16,134	16,134
セグメント利益	684	8	693	693

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益及び包括利益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利 益	金 額
報告セグメント計	693
四半期連結損益及び包括利益計算書の経常利益	693

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計
	塗料事業	化成品事業	計	
売上高	15,512	1,144	16,656	16,656
セグメント利益	801	9	810	810

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益及び包括利益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利 益	金 額
報告セグメント計	810
四半期連結損益及び包括利益計算書の経常利益	810

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
1株当たり四半期純利益金額	10.06円	16.84円
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益金額 (百万円)	311	521
普通株主に帰属しない金額(百万円)	-	-
普通株式に係る親会社株主に帰属する 四半期純利益金額(百万円)	311	521
普通株式の期中平均株式数(千株)	30,979	30,977

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2 【その他】

該当事項はありません。

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成30年2月14日

神東塗料株式会社
取締役会 御中

有限責任あずさ監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 松本 学 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 柴原 啓 司 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている神東塗料株式会社の平成29年4月1日から平成30年3月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間(平成29年10月1日から平成29年12月31日まで)及び第3四半期連結累計期間(平成29年4月1日から平成29年12月31日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益及び包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、神東塗料株式会社及び連結子会社の平成29年12月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

- (注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。
2. XBRLデータは四半期レビューの対象には含まれていません。